

第31次の地方制度調査会(首相の諮問機関)が発足した。総勢30人のうち実質的に議論を語る専門小委員を構成するのは18人の学識経験者。大手銀行出身者もトップに、安倍晋三首相が諮問した人口減少社会への対応などの審議に着手した。政権側には地制調の議論を7月に長官の協力を得る意思もありそうだ。「人口減少を切迫度を増した問題」として、現実的な議論を深める必要がある」。5月末から続いている「5月からの続いで開いた専門小委員会で、柳井雄会長は強調した。「人口減少社会が自治制度に更に重要なものなのか」(大田彦彦氏)と諮問に疑問を投げかける声も出た。

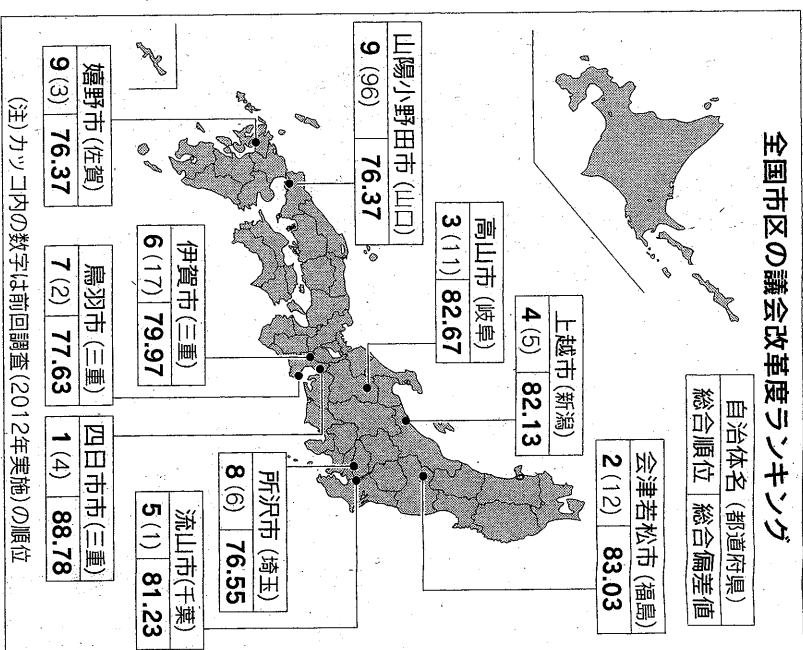
### 第31次地制調が発足

地制調の字識経験者

(○委員長、△副委員長、◇女性委員)

Table listing members of the Local Government System Review Council, including names and affiliations.

多くの委員は積極的に公表と軌を一にして、自らの専門と知識を駆使して、自治体の危機感を高める効果的見地から、人口減少問題を安堵政策から人口減少問題を生みだす。自民党部は「策立案能力が問われている。人口減少社会の自治問う」



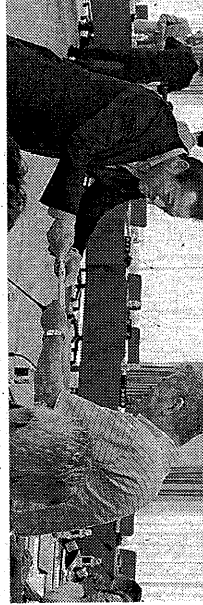
### 議会基本条例、4割超が制定

議会の役割を再定義する。1年間に開催したものは3割超、議会の役割を再定義する。1年間に開催したものは3割超、議会の役割を再定義する...

# 議会改革 底上げ進む

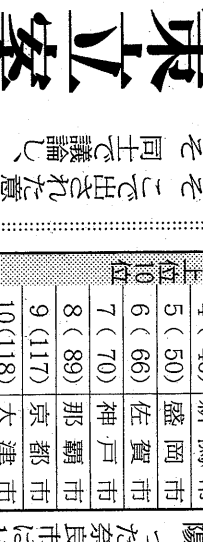
## 全国13市区本社調査

全国13市区議会を対象に、情報公開や住民参加などを聞いた日本経済新聞社の議会改革調査で三重県四日市市、福島県会津若松市、岐阜県高山市がベスト3となった。地方議会の目的は改革が進み、前回調査(2012年)に比べ得点が上がった。ただ変化に乏しい開議的な議会も依然多い。(16日発行の「日経アサヒ」に詳報)



四日市市がトップ

三重県四日市市) 市議会議長(三重県四日市市) 市議会議長(三重県四日市市)



議会の役割を再定義する。1年間に開催したものは3割超、議会の役割を再定義する。1年間に開催したものは3割超...

### 東京23区は大幅後退

市庁所在地で首位。は3年間の間に議会基本条例を制定し、それに伴って飛躍し、名古屋基調で改革を実施してきた。前回調査から大幅に順位を上げた議会もある。前回調査から大幅に順位を上げた議会もある...